

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	茨城県鹿行生涯学習センター
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	(公財) 茨城県教育財団
指定期間	R3. 4. 1～R8. 3. 31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	行方市宇崎 1389
施設の概要	敷地面積 14,219 m ² 本館（RC4階）6,957 m ² 主な施設内容 宿泊室（16室 56名）、図書情報・相談コーナー、音楽視聴覚室、多目的ホール（308名）、美術工芸室、トレーニング室、大研修室（144名）、託児室、保健室、談話室 小・中研修室（4室）、和室研修室、特別会議室、講座室（2室）、飲食スペース（112名）
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県民への生涯学習に関する情報や学習機会の場の提供及び社会教育の推進 ・施設設備の維持管理 ・施設利用に関する業務 ・その他上記に附帯する業務

2 職員の状況

常勤職員： 10 人	非常勤職員： 7 人	合計： 17 人
------------	------------	----------

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	140,162,000	人件費（給与等）	61,531,313
利用料収入	6,159,970	指定事業費	4,052,903
指定事業収入	823,000	管理費	71,268,542
本部繰入金（自主事業）	1,556,000	租税公課等	4,606,320
自主事業収入	342,105	自主事業費	1,819,993
その他の収入	91,640		
収入合計	149,134,715	支出合計	143,279,071

4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
①年間利用日数(日)	308 日	277 日	260 日
②年間利用者数(人)	53,218 人	45,094 人	36,060 人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	6,159,970 円	3,201,370 円	2,951,230 円

5 サービス向上に向けた取組み

- 利用料金割引制度の導入
 - ・平日夜間料金の割引制度
 - ・当日利用申込みの半額割引
 - ・スタンプカードによる割引

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

年間を通じて施設利用者に対してアンケート調査を実施した。
(回答 373 件)

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 23.1%、満足 35.4%、ふつう 37.3%、不満 3.2%、大いに不満 1.0%

②職員・スタッフの応対

大いに満足 47.5%、満足 37.1%、ふつう 14.7%、不満 0.2%、大いに不満 0.5%

③施設の清潔さ

大いに満足 47.9%、満足 38.3%、ふつう 13.6%、不満 0.2%、大いに不満 0.0%

④プログラムの内容

大いに満足 36.4%、満足 38.3%、ふつう 25.3%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

⑤施設全体

大いに満足 49.2%、満足 40.2%、ふつう 10.3%、不満 0.3%、大いに不満 0.0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・スタッフの方の気遣い、心配りがとてもすばらしく、安心して心地よく過ごせた。また利用したい。
- ・宿泊室の部屋がきれいでベッドメイキングまでしてもらってすばらしいと思った。お風呂も清潔だった。

【悪い点】

- ・最初、部屋（宿泊室）のライト点灯のスイッチが分からなかった。（エアコンのスイッチかと思った）

【要望】

- ・宿泊室の学習机スペースに扇風機をつけてほしい。
- ・部屋に wi-fi が欲しい

○対応状況

- ・宿泊室について、エアコンの他に学習スペースに扇風機を設置してほしいとの要望から、希望により、貸出可能とした。
- ・wi-fi 環境について、事前に使用できる場所を案内して対応した。
- ・部屋のライト点灯スイッチは、誰もが分かるように大きく表示した。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務委託し、適切に管理している。	A	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	清掃業務委託業者による所内外の清掃を計画的に実施している。	A	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に従い、指定管理者で対応すべきものは予算の範囲内で優先度を考慮し修繕している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例・規則等を遵守し、適切な運営を行っている。	A	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	継続して利用していただけるよう、懇切丁寧な対応を心掛けている。	A	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	高校生によるイベントの開催や図書コーナーを充実させ、サービスの向上を図っている。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	アンケートでの意見・要望については、可能な限り速やかに対応するよう努めている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。	A	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	要望・苦情等に関する情報共有と共通理解を適切に図り、県への報告を速やかに行っている。	A	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	具体的な災害時を想定した危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練を実施し、緊急時に備えた適切な体制を整えている。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	事業においては、教育事務所や鹿行5市の教育委員会、高校を含む学校等と連携を図っている。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	利用者数値目標は、達成できた。	A	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	研修室により稼働率の偏りが見られるため、稼働率を上げるためのさらなる工夫が必要である。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	収支計画に基づき、適正に執行している。	A	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費については、適切に支出し、軽重を付けながら効果的な削減に努めた。	A	B
<p>【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価</p> <p>地域の高校生が主体となって企画運営を行うイベントを開催し、高校生と高齢者施設や地域住民との交流の場を設けるなど、多世代にわたる利用拡大を図っている。またアンケートにより寄せられた利用者の要望に対しきめ細やかに対応するなど、サービスの向上に熱心に取り組んでいることがリピーターの獲得に結びついていると考えられる。</p> <p>以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。</p>				

- ※
- ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの